

年度評価シート

課名 産業政策課

施設の名称 静岡市清水産業・情報プラザ	指定管理者名 静岡市産業支援施設管理運営共同体
1 履行状況	
(1) 目標達成	
ア 新規創業者、新商品開発、新分野進出等件数 目標値 30 件/年 実績値 30 件 (前年度 36 件) 達成率 100%	
(2) 施設利用状況	
ア 貸会議室稼働率	
・研修室 1 使用コマ数 188、稼働率 20.7%	
・研修室 2 使用コマ数 191、稼働率 21.1%	
・会議室 1 使用コマ数 56、稼働率 6.2%	
・会議室 2 使用コマ数 168、稼働率 18.5%	
・平均 使用コマ数 151、稼働率 16.6%	
イ 創業者育成室稼働率	
令和 5 年度末における入居者は 17 事業者で 18 部屋 (全 32 部屋)	
・稼働率 56.25%	
ウ 利用者数	
令和 5 年度の施設利用者数は 7,196 人。令和 4 年度は 10,449 人。	
【参考】令和元年度 (コロナ前) 9,183 人	
(3) 人員配置状況	
正規職員 5 人、派遣職員 1～2 人	
(4) 業務実施状況	
静岡産学交流センター及び静岡市清水産業・情報プラザ事業計画書に規定する各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。	
主な事業と参加者数は以下のとおり。	
ア 創業支援事業	
・創業ステップアップ講座 全 5 回 参加者数 27 名	
・創業講演会・交流会 参加者数 23 名	
・専門アドバイザーによる定期相談業務 39 件	
・入居者交流会・情報交換会 全 6 回	
イ 中小企業支援事業	
・現場改善支援事業支援件数 14 件	
ウ 産学連携事業	

- ・産学官講演会 全6回 参加者数 224名
- エ 情報化支援事業
- ・情報化セミナー 参加者数 67名

【検証・分析等】

令和5年5月から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したことにより、セミナー等の対面での参加者が増え、令和4年度までと比較し交流会等で参加者間での交流が促進された点が評価できる。

一方で、外壁や空調など施設の修繕による影響で貸会議室の予約が制限されたこともあり、施設の利用者数が減少した。施設修繕も終わったため、令和6年度は利用者増加に向けた広報強化などの取り組みが必要である。

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

意見①：セミナー申し込み時に、HPやセミナーを検索しなくても、簡単に申し込みをしたい。

対応①：セミナーチラシにQRコードを添付し、より簡便に申し込めるように対応した。

意見②：創業者育成室の入居者より、新たな情報を入手するために図書の導入希望があった。

対応②：当該図書の導入が他の入居者においてもメリット享受に繋がるため、当プラザ図書館で購入した。

意見③：製造現場の技術伝承に資する講演会の実施希望があった。

対応③：製造現場のDX推進に向け、デジタル技術を活用した技術伝承や教育改革をテーマにした講演会を実施した。

【検証・分析等】

利用者からの意見・要望に対し、実施事業に要望を反映させるなど概ね適切な対応がとられている。創業者育成室の入居者からの要望に対しても、誠実かつ迅速な対応がとられており、入居者の満足度向上が期待できる。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

本施設は、中小企業及び創業者支援、市民の情報化支援のための施設であり、各種セミナーや講演会においてアンケート調査を実施している。

【調査結果】

回答者総数：322件、「参考になった」と回答した人数：274人

・創業支援セミナー	参考になったと回答	100.0%(前年度 92.5%)
・創業ステップアップ講座	参考になったと回答	88.6%(95.4%)
・産学官講演会	参考になったと回答	78.8%(82.9%)
・情報化講演会	参考になったと回答	96.5%(97.5%)
・情報化支援セミナー	参考になったと回答	85.7%(67.0%)

【検証・分析等】

利用者からは良好な評価を受けており、中小企業や創業希望者のニーズに合致した有意義な講座及びセミナーであったと評価する。産学官講演会の満足度が若干低いのが5回の講演のうち1回が医療分野の内容で難しいという意見があり、満足度が下がったと分析している。令和6年度は事前に講演内容について事前に大学と打ち合わせの場を設けることで改善を図る。一方で、情報化支援セミナーは参加者のニーズを反映させたテーマを取り扱ったことにより、昨年度に比べ満足度は参加者数とともに上昇している。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート

【確認結果】

－：未実施

(3) その他の調査

【確認結果】

－：未実施

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務の収支状況は、適正に執行されている。

【検証・分析等】

指定管理業務の収支状況は、収入については、事業収入が増加したものの、外壁等の修繕による貸会議室の貸出制限の影響があり利用料金収入の減少が目立った。令和6年度は広報強化による創業支援室の入居者の増加と会議室利用者の増加に期待したい。

また、支出に関しては外壁以外の小破修繕が重なったことにより修繕費が増加した。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

指定管理業務全般について、業務仕様書や事業計画書に従い良好に実施されている。

事業全般については、創業者育成室の入居者やセミナー参加者からの要望に適切に応えられている点が評価できる。一方で、創業者育成室の入居者と会議室の利用者を増やすための広報活動が今後の課題である。

静岡商工会議所と(公財)静岡産業振興協会とが一括管理しているという強みを活かし、引き続き産学交流センターと連携のとれた施設運営を期待したい。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。